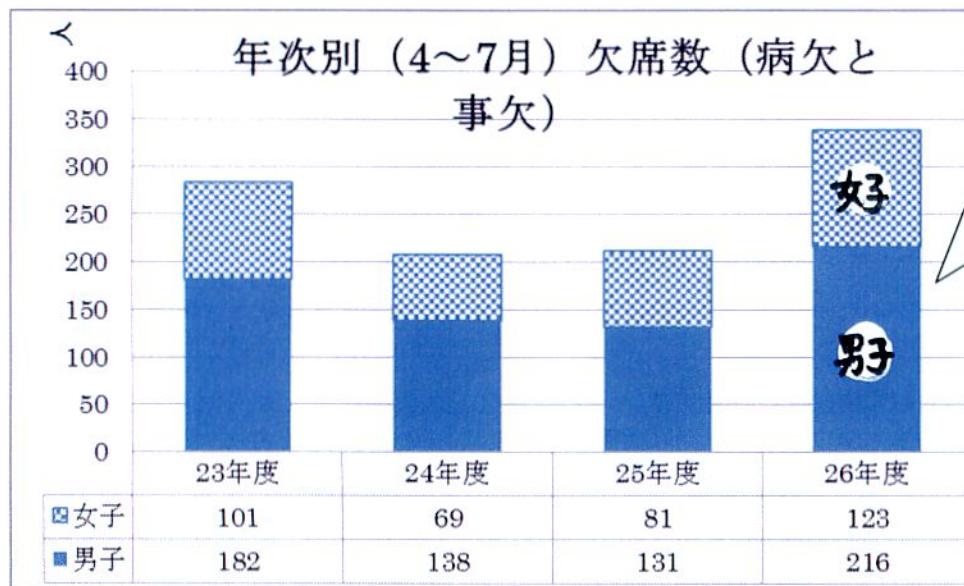


元気な子ども！

平成26年9月3日
天童市立長岡小学校

朝夕過ごしやすくなりましたが、日中はまだまだ暑い日が続きます。子どもたちは、運動会に向けて赤組・白組のリーダーを中心に、応援合戦などの練習や、係りの活動をがんばっています。

さて、**昨年と今年の4～7月の欠席者数を比較すると、1.6倍**多くなっています。
グラフ1



今年の4月から「かぜ」「腹痛」「頭痛」「発熱」などの体調不良で欠席する児童が増えました。過去4年間の中で最も多くなっていますし、皆出席日が1日もありません。天候不順などと関係していると思われます。

こんなことはありませんか？…

寝冷え？ 冷たいものの食べ過ぎ？ 寝不足や疲れ？



- ◎暑さに合わせて、服装を調節
- ◎寝具はタオルケット + 薄手の掛け布団で調節
- ◎朝ごはんは
主食 + おかず + 飲みもの・汁物 を
バランスよくしっかり食べます。
- ◎早めに寝て、睡眠を十分にとります。
- ◎ゆっくりお風呂に入ります。
- ◎手洗い・うがいはいつも行います。

毎日、元気に登校します！

*下記のことをお子様と一緒に読んでください、運動会を乗り切ってくださるようにお願いいたします。

熱中症は、いつでも起こります！

熱中症とは？：暑さの中で、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、調節できなくなってしまった障害を言う。（熱けいれん・熱疲労・熱射病）

熱中症での死亡事故：①梅雨があけた、蒸し暑い時期から多く発生します。
②長時間の運動中や運動後。（マラソン・登山・部活動）
③35°C以上の炎天下
④25°C以上の室内での通気性の悪い場所など



なんといっても規則正しい生活

- 気温に注意する。25°C以上
- 3度の食事はきちんと食べる。
- こまめに水分を補給する。授業が終わったらたびに飲む。
- 健康状態をいつもチェックする。
- 必ず帽子をかぶる。

子どものケガを防ぐ6つのポイント



洋服についている飾りやひもが遊具に引っかかったり、足で踏んだりすると、大けがの原因に。



大きすぎる靴は脱げやすいので、つまずいたり、転んだりする原因に。



つめが伸びていると、お友だちにけがをさせたり、つめが折れて痛い思いをすることも。

子どもの爪は伸びるのが(よく、週に1回(土・日)に注意してみてください。

運動しやすいズックの用意をお願いします。
ズックのひもをきちんと結ぶ練習もさせてください。



遊ぶ場所や遊具に危険がないか、危険な遊びをしていないか、見て確認し、遊んでいる間は目を離さないようにします。



横断歩道を渡るときや、駐車場・交通量の多いところを歩くときには、必ず手をつなぎ、大人が車道側を歩くようにしましょう。



危険な場面では、なぜ危ないかを説明し、危険な場所や行動について、くり返し教えましょう。